

# 弁護士中田の ビジネスナビゲータ

土曜日 6:45~7:00

文化放送



番組へのメールは  
コチラ!  
navi@joqr.net



## 番組内容

企業法務を得意とする弁護士の中田光一知さんをパーソナリティに、報道記者経験8年の中嶋美和子さんをアシスタントに迎えて明日のビジネスに役立つ情報をお送りする15分番組です。

法務というと、訴訟や苦情から守ることだけを考えてしまうかもしれませんが、この番組ではもっと積極的なお話を展開していきます。

真面目に攻めの法務を語る中田弁護士と、それをわかりやすく砕いてくれる中嶋さん、番組では二人の絶妙なトークが展開されます。



## パーソナリティ

中田光一知  
(ナカダ コウイチ)



中田総合法律事務所 弁護士  
昭和34年 東京都生まれ。  
東京都立国立高校を経て、  
早稲田大学法学部卒業。  
平成元年に弁護士登録(第二東京弁護士会)、平成6年に独立開業。  
弁護士活動のほか、講演活動、  
執筆活動、各メディア出演でも活躍中。



## アシスタント

中嶋美和子  
(ナカシマ ミワコ)



明治学院大学法学部卒  
大分県出身  
1999年大分朝日放送アナウンサーを経て、2007年よりフリー報道記者としての経験を活かしつつ、今は硬い番組からバラエティまで幅広く出演している。  
オフィス北野所属



## 最近の放送

2011年07月23日

■第16回：協栄産業 株式会社(2)

■2011年7月23日放送分：ゲスト 協栄産業 代表取締役社長 古澤栄一さん■

先週に引き続き、

PETボトルをリサイクルすることで"資源循環の輪"を広げている

協栄産業株式会社 代表取締役社長 古澤栄一さんにお話を伺いました。

### ■安全基準クリアで"ボトル to ボトル"実用化！

サントリー食品インターナショナルが、国内飲料業界としては初めて

回収した使用済みPETボトルを原料に利用して

新しいPETボトルに再生する

いわゆる"ボトルtoボトル実用化"をスタートさせ、商品の一部で導入されました。

この再生ボトルは「リペット・スタイルボトル」。

これまで、リサイクルPET原料は主に繊維(衣類、車の内装材など)やシート(タマゴパックなど)、文具などに使用されていました。

安全性を考慮し

リサイクル材が「PETボトルの原料」に使われることはありませんでしたが、

今回、サントリー食品インターナショナルは

協栄産業株式会社が提供する「再生PET樹脂」を原料の50%に使用。

今後はさらに「再生PET樹脂」の含有量を高め、

"100%ボトル to ボトル リサイクル"を目指す——としています。

古澤「しっかりした循環の輪を広げるには、

"生産者"である飲料メーカーに(リサイクル材を)お戻しすることが必要。

お戻しするためには"安全基準"を満たせるものを作っていかなければなりません」



### ■容器包装リサイクル法

「容器包装リサイクル法」は、

家庭から出るごみ=容器包装廃棄物を資源として有効利用することで、

■第16回：協栄産業 株式会社（2）

■第15回：協栄産業 株式会社（1）

■第14回：独占禁止法違反 モバゲーに排除命令

■第13回：鉄鋼大手の合併は 市民生活向上につながるか？

■第12回：不動産の流動化

■第11回：過去最大規模の個人情報流出問題



## アーカイブ

2011年7月

2011年6月

2011年5月

2011年4月

ごみの減量化を図るための法律です。

【事業者】・・・製造した容器包装の"排出の抑制"を行い、その量に応じて、リサイクルの義務を負う

【消費者】・・・容器包装廃棄物の排出を抑制し、分別排出する（地域のルールによる）

【市町村】・・・容器包装廃棄物の分別収集を行う

【リサイクル事業者】・・・分別基準適合物を運搬・再生加工し、新たな"資源"へとリサイクルする

中田「『容器包装リサイクル』はPETボトルの単品回収に成功した"日本の法律の成功例"ですよ」

### ■わたしたちができること

PETボトルは貴重な資源――。

PETボトル飲料を飲んだ際には、ラベルをはがし、キャップをはずして排出（分別回収）することでリサイクル作業の効率化が図れ、回収資源の品質も高まります。

古澤「家で飲んだ時は、中をちょっとすすいで出していただく――。外で飲んだ時は、飲み残しがないようにしていただく――。それだけでもリサイクルに大きく役立ちます」

中田「ゴミを資源にする簡単なひと手間ですね」



古澤「日本には地下油田はありませんが、地上にある"都市油田"は無尽蔵にありますから、それを大事に掘り起こしましょう」

### ■一個人、一企業の努力が世界の流れを変える

中田「"ボトル to ボトル"は非常に大事な発想で、これから先、おそらく100% "ボトル to ボトル"でリサイクルができるんじゃないかと思いますが、そういう"流れ"を作っていくのは、協栄産業の古澤社長のような一人一人、あるいは一つ一つの企業の努力なんだな、と改めて感じました」

『弁護士中田のビジネスナビゲータ』では放送で取り上げてほしいテーマや質問、番組の感想をお待ちしています。



■宛先：メール [navi@joqr.net](mailto:navi@joqr.net)

■宛先：ハガキ 〒105-8002 文化放送

■宛先：ハガキ 「弁護士中田のビジネスナビゲータ」

2011年07月16日

■第15回：協栄産業 株式会社（1）

■2011年7月16日放送分：ゲスト 協栄産業 代表取締役社長 古澤栄一さん■

『弁護士中田のビジネスナビゲータ』は

「ビジネス」の世界で今、起きている出来事について

中田総合法律事務所の弁護士・中田[なかだ]光一[みつかずみ]さんが

「法律」の観点からわかりやすく解説するほか

時には企業経営に携わっている方をゲストにお招きして

ビジネスの最前線的话题をお聴きします。

7月16日 ゲスト：協栄産業株式会社 代表取締役社長 古澤栄一さん



#### ■協栄産業 株式会社について

協栄産業はPETボトルはじめとする、使用済みプラスチック製品から

「PET樹脂」「ペレット」と呼ばれる高品質の再生原料を製造。

リサイクルによって“資源循環の輪”を広げています。

設立：1985年（日本に飲料用PETボトルが登場したのは1982年）

本社：栃木県小山市 工場：全国6か所

#### ■リサイクルへの理解がなかった1980年代

大量生産・大量消費・大量廃棄の1980年代——。

古澤栄一さんが協栄産業を設立した当時の日本は、

“世界のモノづくり国”として、国内企業同士が競い合っていました。

従来、廃棄物だったものをリサイクルすることは、

知的財産の漏えいにつながる——と考えられ、

リサイクルの必要性に対する理解がなかった時代だったのです。

#### ■リサイクルの“見える化”

「商品にならなかったモノを埋め立て・焼却してしまうのはもったいない」と考えた

古澤さんは、リサイクル方法を開示＝見える化する事で、

企業（排出事業者）の理解を得ることに成功。

やがて世界は“資源リサイクルの時代”へと移り変わることに——。



### ■PETボトルは日本の都市油田

石油を原料に作られるPETボトル——。

日本には中東のような天然油田はありません。  
しかし、使用済みPETボトルを適正にリサイクルすれば、  
バージン原料の代わりに使用することができます。

そこで古澤さんは  
"地下資源" =天然油田を利用して作られ、リサイクルできるPETボトルは  
"地上資源"である——と捉えています。

古澤「"都市油田"というイメージになるんじゃないでしょうか」

中田「"都市油田"というのは言いえて妙、その通りですね」



### ■地球的意義のあるリサイクル

中田「ペットボトルが始めて間もなく"資源のリサイクル"に目をつけられ  
それが社会的、地球的意義があることで、  
それをご夫婦で始められた——ということに感銘を受けました」

協栄産業株式会社 代表取締役社長 古澤栄一さんには  
来週7月23日もご登場いただき、  
PETボトルリサイクルの最新事情="ボトル to ボトル実用化"について  
お話を伺います。どうぞ楽しみに！

『弁護士中田のビジネスナビゲータ』では  
放送で取り上げてほしいテーマや質問、番組の感想をお待ちしています。

- 宛先：メール [navi@joqr.net](mailto:navi@joqr.net)
- 宛先：ハガキ 〒105-8002 文化放送
- 宛先：ハガキ 「弁護士中田のビジネスナビゲータ」